

小型・産業用モータ世界市場に関する調査結果 2009

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の要綱にて小型モータ及び産業用モータの世界市場に関する調査を実施した。

1. 調査期間:2009年10月～12月
2. 調査対象:小型モータ、および産業用モータメーカー(計19社)
3. 調査方法:当社専門研究員による直接面談取材、電話、e-mail等のヒアリング、各種文献調査を併用

＜小型・産業用モータとは＞

本調査における小型モータはブラシ付DCモータ(コアード、コアレス)、振動モータ、ブラシレスDCモータ、ステッピングモータ(PM型、HB型)、ファンモータ、ACインダクションモータを対象とし、産業用モータはサーボモータ、リニアモータ、インダクションモータ、PMモータを対象とする。

【調査結果サマリー】

◆ 小型モータの2009年度世界市場規模は79億4,427万個の見込み

2008年後半の世界同時不況の影響を受け、2009年度は2008年度に引き続きマイナス推移の見込みである。ただ、小型モータのアプリケーションは、情報機器、OA機器、AV機器などに加え、自動車、産業機械などへと拡大しており、マイナス成長は一時的なものと思われる。

◆ 産業用モータの2009年度世界市場規模は501万9,300台の見込み

産業用モータで最も需要が高いサーボモータは、既存の工作機械用途に加え、液晶や半導体製造装置向けが増加傾向にある。また、高効率インダクションモータ、PMモータ等、地球環境問題などから省エネ効果の高い製品ニーズが増加しているため、2008年度、2009年度の市場縮小は一時的なものであると思われる。

◆ 2012年度の世界市場規模は小型モータ94億9,650万個、産業用モータ566万4,700台に

モータの世界市場全体は2010年度以降プラスで推移し、2012年度に2008年度の市場規模レベルに回復するものと予測する。

小型モータについて、アプリケーションが産業用、自動車用に拡大するのに加え、中国など需要先の広がりにより、市場が成長するものとみられる。

産業用モータについては、サーボモータが既存の工作機械用途の増加に加え、液晶や半導体製造装置向けで需要拡大、高効率インダクションモータ、PMモータは省エネ効果の高い製品ニーズの増加により、またリニアモータは搬送用途の増加に牽引され、市場が成長するものとみられる。

◆ 資料体裁

資料名：「2010年版 モータ市場の現状と展望」
発刊日：2009年12月24日
体裁：A4判250頁
定価：136,500円（本体価格130,000円 消費税等6,500円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 営業本部 広報宣伝グループ TEL:03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報宣伝グループ迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 小型モータ市場

1-1. 市場概況

- 2009年度の小型モータ世界市場規模は、前年度比 86.8%の 79億 4,427万個を見込む。
- 内訳はブラシ付 DC モータ(コアード、コアレス、但し振動モータ除く)が 39億 7,402万個、振動モータが 10億 5,970万個、ブラシレス DC モータが 11億 6,800万個、ステッピングモータ(PM型、HB型)が 9億 3,555万個、DC 軸流ファンが 7億 2,000万個、AC インダクションモータが 8,700万個である。
- ブラシ付 DC モータは、AV 機器に代わって車載向け需要が増加傾向にあったが、自動車市場の落ち込みに加え、主要な小型家電製品市場でも需要が減少したことにより、2008年度からマイナス推移となった。
- 振動モータは、2008年度までは携帯電話市場の伸びを背景に市場拡大を維持していたが、2009年度は同市場の落ち込みにより需要縮小に転じている。
- ブラシレス DC モータは、情報機器市場の停滞により市場が縮小しているが、主要アプリケーションである HDD 市場拡大により需要の縮小は小幅に留まった。
- ステッピングモータは、従来主力であった FDD 向けがアプリケーション市場の衰退に伴い急激に縮小しており、代わりに ODD 関連(CD/DVD-ROM等)やカメラ関連(デジタル・スチル・カメラ、カムコーダ等)での需要が増加している。
- DC 軸流ファンは、情報機器市場の停滞により CPU や機器冷却向け等が縮小している。一方、産業機械や自動車などの分野で需要が拡大傾向にある。
- AC インダクションモータは、日本では従来メイン需要であった住設/白物家電製品が DC ブラシレスモータ化しているが、アジアを中心とした海外市場では低価格の AC インダクションモータ需要が高く、市場の落ち込み幅は少なかった。

1-2. 市場予測

- 2012年度の小型モータ世界市場は 94億 9,650万個と予測する。
- 内訳はブラシ付 DC モータが 51億 210万個、振動モータが 11億 3,600万個、ブラシレス DC モータが 12億 9,100万個、ステッピングモータが 10億 9,240万個、DC 軸流ファンが 7億 8,000万個、AC インダクションモータが 9,500万個である。
- 2010年度以降、各モータ需要は回復基調とみられる。しかし、振動モータは携帯電話向けで競合となる MFD (Multi Function Device) の台頭によって、2011年以降は伸び率が鈍化すると予測する。ブラシレス DC モータは HDD 市場の伸びに牽引され、他モータより早いペースで 2010年度には 2008年度の市場規模と同等の 11億 8,300万個まで回復、DC 軸流ファンは産業機械や自動車等の分野で需要が拡大する傾向にあり、2012年度に 2008年度レベルを超え 7億 8,000万個になると予測する。

2. 産業用モータ市場

2-1. 市場概況

- 2009年度の産業用モータ世界市場は、前年度比 91.3%の 501万 9,300台を見込む。
- 内訳はサーボモータが 450万 3,000台、リニアモータが 20万 6,300台、高効率インダクションモータが 9万台、PM モータが 22万台である。
- サーボモータは従来からの工作機械用途に加え、液晶や半導体製造装置向けが増加傾向にあり、2010年度以降は回復が期待される。
- 高効率インダクションモータは工場設備のファン、ポンプ、コンプレッサ向けを中心に市場が拡大傾向にある。2009年度は景気後退により市場が縮小しているが、地球環境問題等から各種法制度の整備に伴い、省エネ寄与製品として需要拡大が期待される。
- リニアモータは搬送向けに市場を形成してきた。2009年度以降、韓国、台湾、中国を中心として半導体・液晶製造装置向け需要が回復傾向にある。
- PM モータも他モータ同様、2009年度にかけて一時的に需要が縮小傾向にあるが、高効率インダクションモータと同様、環境問題を背景に省エネ製品需要により拡大している。

2-2. 市場予測

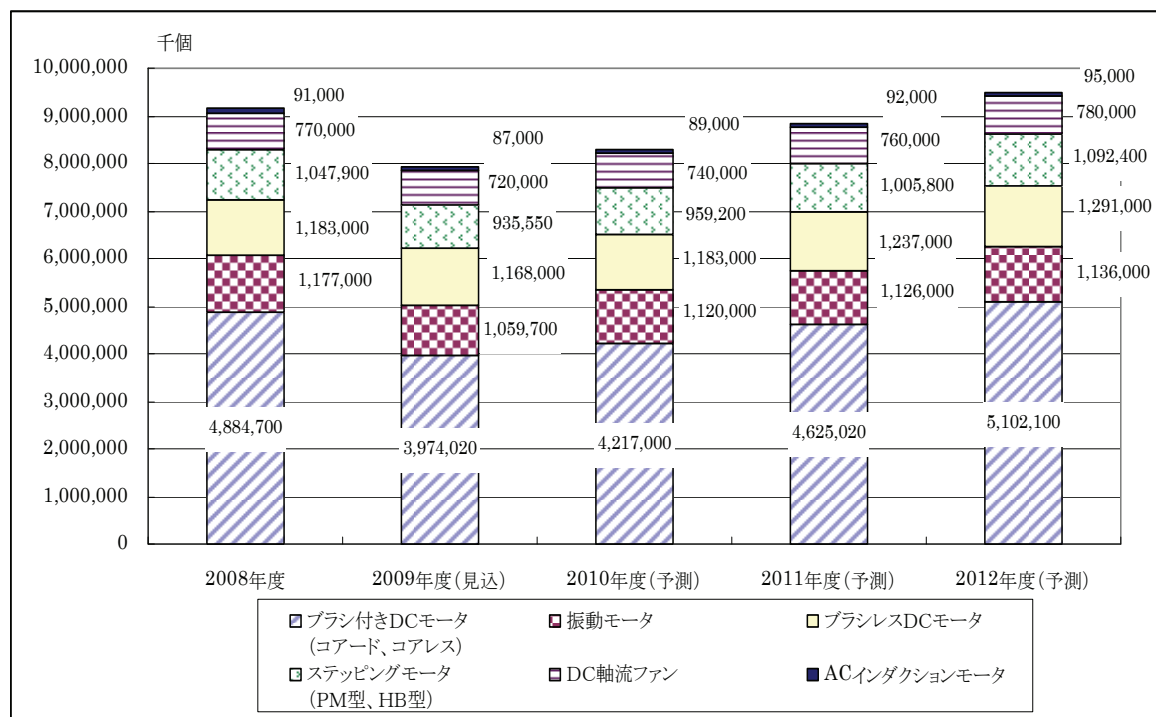
- 2012年度の産業用モータ世界市場は 566万 4,700台と予測する。
- 内訳はサーボモータが 500万台、リニアモータが 29万 4,700台、高効率モータが 10万台、PM モータが 27万台である。
- 2008年度から2009年度にかけての市場縮小はリーマン・ショックによる一時的な不況であり、長期的には今後も市場成長が見込まれる。
- なかでも高効率インダクションモータや PM モータは上述したような省エネ製品需要を取り込み、大きな成長が期待できる。

図表 1. 小型モータの世界市場規模予測

単位:千個

	2008年度	2009年度 (見込)		2010年度 (予測)		2011年度 (予測)		2012年度 (予測)	
	数量	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
ブラシ付き DCモータ (コアド、 コアレス)	4,884,700	3,974,020	81.4%	4,217,000	106.1%	4,625,020	109.7%	5,102,100	110.3%
振動モータ	1,177,000	1,059,700	90.0%	1,120,000	105.7%	1,126,000	100.5%	1,136,000	100.9%
ブラシレス DCモータ	1,183,000	1,168,000	98.7%	1,183,000	101.3%	1,237,000	104.6%	1,291,000	104.4%
ステッピング モータ (PM型、 HB型)	1,047,900	935,550	89.3%	959,200	102.5%	1,005,800	104.9%	1,092,400	108.6%
DC軸流 ファン	770,000	720,000	93.5%	740,000	102.8%	760,000	102.7%	780,000	102.6%
AC インダクシ ョンモータ	91,000	87,000	95.6%	89,000	102.3%	92,000	103.4%	95,000	103.3%
合計	9,153,600	7,944,270	86.8%	8,308,200	104.6%	8,845,820	106.5%	9,496,500	107.4%

矢野経済研究所推計



矢野経済研究所推計

注 1: メーカー出荷数量ベース

注 2: (見込)は見込値、(予測)は予測値

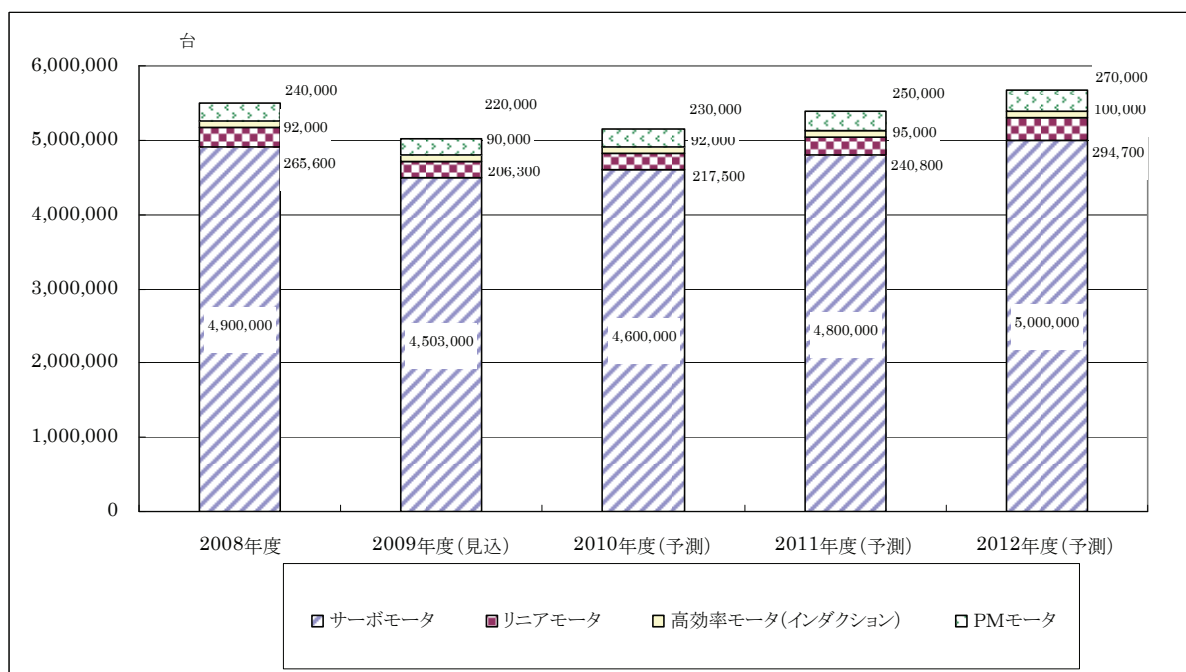
注 3: ブラシ付き DC モータには振動モータ含まず

図表 2. 産業用モータの世界市場規模予測

単位: 台

	2008年度	2009年度 (見込)		2010年度 (予測)		2011年度 (予測)		2012年度 (予測)	
	数量	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比
サーボモータ	4,900,000	4,503,000	91.9%	4,600,000	102.2%	4,800,000	104.3%	5,000,000	104.2%
リニアモータ	265,600	206,300	77.7%	217,500	105.4%	240,800	110.7%	294,700	122.4%
高効率モータ (インダクション)	92,000	90,000	97.8%	92,000	102.2%	95,000	103.3%	100,000	105.3%
PMモータ	240,000	220,000	91.7%	230,000	104.5%	250,000	108.7%	270,000	108.0%
合計	5,497,600	5,019,300	91.3%	5,139,500	102.4%	5,385,800	104.8%	5,664,700	105.2%

矢野経済研究所推計



矢野経済研究所推計

注 4: メーカー出荷数量ベース

注 5: (見込)は見込値、(予測)は予測値